秋穂町広報

昭和40年1月15日
第72号

山口県吉敷郡
発行 編集 秋穂町役場
秋穂町（電話4番）
印刷所 国次印刷所

○運転はずばりとこわる酔った夜
○これぐらいと飲んだお酒が事故のもと
○出る前、寝る前、戸締まりガッチリ
○前を向いて歩こう。知らない男にささやかれても
○私には関係ないそんな気持が暴力をはびこらせる。見ても聞いてもすぐ警察へ

○町民税（第四期分）国民健康保険税（第八期分）の納期です。納期限の二月一日までに、お忘れなく納税しましょう。

国民の祝祭日には国旗を掲げましょう。

年頭の辞

町長 藤生仕郎

昭和四十年の希望に溢れる輝かしい新年を迎え、先づ以って町内の皆様に心から御慶び申し上げます。

過ぎ去った昨年をふり返って見ますとき、昨秋の郷土の総理佐藤内閣の誕生は、県民挙げての祝福と、その活躍を全国民ひとしく期待を寄せているところと存じます。益々卿健闘を祈って止まない次第であります。

国際的には中共問題、南ベトナム問題等、複雑多岐な現状下にあり、国内的には所得倍増のキャッチフレーズで驚異的な経済成長を遂げた反面、一方においては経済のひずみ是正、物価問題、貿易の自由化、金融引締めによる影響あるいはまた生産と需要のアンバランスの様相を呈して来ると云う幾多の問題を含みながら、昭和三十九年を越年致しましたが、本年はこの大局をよく見つめながら時流と国の施策にあわせ、町政についてじっくり取り組み、諸施策を講じたいと存じます。

農業の面においては国のひずみ是正政策とあわせ当町でいちはやく手をつけました農業構造改善事業の仕上げとその体質改善をなし、所謂、他産業との格差是正につとめ、漁業においてもまた然り、漁業構造改善事業に重点をおき最近よく申されます強る漁業から育てる漁業、すなわち浅海養殖事業等に意を注ぎたく考えております。勿論農業に於いては農業協同組合、漁業に於いては漁業協同組合と密接な連けいを保ちつ、進むことは言をまたないところであり、関係各位の御協力を乞い願う次第であります。

また中小企業に於いては、町商工会を主軸となし、金融面にあるいは消費面に於いてその振興にあらゆる努力を惜しまない覚悟であります。

近来とかく問題となります青少年問題については、次代をになう子等に対する施策の重大性をよくわきまえ学校教育の面に、あるいはその子等の生活園教育と云うことに留意し、関係機関並びにこの面に於けるあらゆる叡知を結集して青少年健全育成を強力に推進し、一方ではとかく忘れられ勝ちな暗い谷間にあえぐ低所得対策として、社会福祉諮問施策を講じたく存じます。

また本年は継続事業でありますところの漁港修築事業、海岸保全事業、あるいは港湾局部改良事業は引続き鄭工致しますとともに、産業基盤の道路整備については、町道の整備は勿論、県道の補修整備についてもあらゆる努力を致します。また山口県の観光事業の一環として中道地区に、一大国民宿舎の建設を推進し中学校危険校舎の改築は是非実現し、秋穂二島中学校の統合問題もよく検討し推進したいと存じます。

なお最後に新聞紙上等で既に御存知のいわゆる工特法（工業整備特別地域整備促進法）に基づく、周南工業整備特別地域に、当町全域編入指定を受けるべく、県当局並びに政府に対し強力に働きかけてその実現に最大の努力を致します。

以上年頭に当り思いつくまゝに羅列致しましたが、とにかく全力を挙げて明るい住みよい、そして進展する町造りに精進致しますことをお誓い申し上げるとともに、皆様の一層の御協力と御支援をお願いし将又、本年もよりよい年であります様、そして皆様の御多幸をお祈り致しまして年頭の辞と致します。

年頭のあいさつ

議長 岡田甲

一九六五年の年頭にあたり町議会を代表致しまして謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様明けましておめでとうございます。

栄えゆく輝かしい新春を迎え皆様とともに町の将来をことほぎ併せて町政の発展をお祝いできますことは小取の心から慶びとするところで御座居ます。昨年七月議員改選以来今日迄皆様のあたたかい御指導と御鞭撻によりまして本町躍進のため微力をつくしてまいりました。

年あらたまり私達町政をあづかる議会人は心を新たにして大いなる希望のもとに町の繁栄のため最大の努力をいたす覚悟であります。今後とも宜しき御理解と御協力御指導賜わります様心から御願い申し上げまして年頭のごあいさつと致します。

補充選挙人名簿登録申出について

選挙のあるなしにかゝわらず今後は**いつでも**補充選挙人名簿登録の申し出ができます。

申し出の要件

一、町外から転入者で年令満二十才以上の者（転入手続きの際申し出ができます。）

二、秋穂町在住者で年令が満二十才になったもの

三、資格がありながら選挙人名簿からもれている者

手続きは極めて簡単で申出書は選挙管理委員会、役場大海支所の窓口にあります。

（印かんが要ります）

注意

補充選挙人名簿に登録するときは選挙権の有無三ヶ月の住所期間の有無等を調査して自動的に登録されるわけで申し出をしたかと云って必ず名簿に登録されるとは限りません。

善意銀行に御協力を！

私たちお互が住んでいるお互の社会を、よりよいものにしようという善意は、多くの誰もが持っています。またその善意によって、慰められ、力づけられ、救われる人々も数多くあります。

心あたたかい人々の美しい善意を結集して、みんなが喜びあえるしあわせな社会づくりに役立たせようと『善意銀行』を設立しました

一、所在地
秋穂町善意銀行本店
秋穂町役場住民課内

一、預託者
秋穂町役場大海支所
二、預けて頂く口座
技術口座―理髪、大工、運転その他の技術
奉仕口座―労力その他一日里親等
現金口座―額に制限ないいくら小額でも可
物品口座―衣料その他の物品
献血口座―血液型を登録して預血する。
特別口座―集団による清掃、演芸等グループによる慰問

心に埋れている善意をお持ちの方は、いつでも結構ですから、本店、支店の窓口や社協役員、民生委員等にご相談下さって、明るいまちづくりしあわせな社会づくりに役立たせようとする善意銀行が一月下旬より発足しますのでご協力願います。

秋穂町社会福祉協議会
秋穂町善意銀行

歳末たすけ合い運動実績報告

歳末たすけ合い運動は、共同募金の一環として毎年十二月一日から一ケ月間全国的に展開されまして、厚い理解と温い心の累積された浄財が、惜まれない暗い谷間の人々に贈られて、明るい正月を迎えて貰うのに大変役立っておりますことは、皆様の御承知のとおりであります。

本町も、社会福祉協議会で本年のたすけ合い募金目標を一世帯五〇円または米五合程度として、この募金を婦人会の献身的な御協力と皆様の温い思いやりによりまして、昨年以上の好成績を得ることができましたことに対し深く感謝します。既に昨年末に有線放送を通じまして、この御報告を致し御礼申しあげましたが、この広報紙をもちまして実績の報告を致しますとともに関係者皆様の善意に心からお礼申し上げる次第でございます。

記

収入

一般募金　一〇二、八〇三円
秋穂町婦人会　二、二九〇円
秋穂町青年団　一、〇〇〇円
山口農高秋穂分校　三、五〇八円
計　一〇九、六〇一円

支出

町内の恵まれない家庭
一二四世帯へ
金　九六、四〇一円
（但し、世帯構成人員数により段階がついております。）
計　一〇九、六〇一円

町議会だより

十二月定例町議会は十二月二十二日開かれ次のとおりそれぞれ可決されました

可決された議案

一、秋穂町税賦課徴収条例の一部を改正する条例について
一、山口県市町村消防団員補償等組合規約の一部改正について
一、期末手当の支給について

町役場人事異動について

町役場では保険年金課の新設に伴い十二月十五日付で次のとおり職員の異動を行いました。

総務課長　松本　久雄
大海支所長　安藤　明
税務課徴収係長　石田　芳朗
産業課商工水産係中村信義
〃　農林係　若村　義昭
住民課長　福田　雅二
住民課住民係　松冨　三男
保険年金課長　松崎　肇一
保険年金課保険年金係　山県　博
養護老人ホーム秋楽園出向　繁光　揚子
教育委員会事務局出向　長尾鶴一郎
内田　幸枝
療養所、病院、老人ホームなど公費入院入所の恵まれない人　六六人へ
金　一三、二〇〇円
計　一〇九、六〇一円

プロパンガス器具の取り付けについて

プロパンガスの普及についてこの事故が非常に増加しましたこれは特に消費者の家庭における事故が多くなるかでもプロパンガス器具を不用意に消費者が取り付け、付け替えをすることによって生じた事故がプロパンガス事故の半ばを占めています。

プロパンガスは非常に爆発しやすい危険なガスですので一般家庭における消費施設について高圧ガス取締法という法律で次のような守るべき基準が定められております。

(1) ガスボンベは屋外として屋外に設置すること。
(2) ガス配管（ゴム管、金属管ともに）所定の検査を受けたものであること。
(3) ゴム管と金属管とを結着するときは、その部分をキースバンドで締め付けること。

そこでプロパンガス器具は**絶対しろうと**の方が取り付けないよう、取り付けはすべてプロパンガス販売店に依頼してください。

志気も新たに 消防出初式

昭和四十年、新春恒例の消防出初式が、好天に恵まれた五日午前九時より秋穂小学校運動場で、来賓多数御臨席のもと、盛大に挙行されました。式終了後、高校分校前で放水訓練を行い消防精神を鼓舞しました。

出初式で表彰をうけられた方々は次のとおりであります。

県消防協会長表彰
永年勤続　中田　与門
同野　新治
縄田　照次
春植　一民
海農　保
藤田　英一

町長表彰
功労章　田頭　正雨
精勤章　村岡　誠司
広海　元行
松崎　清
尾中　都雄
勤続章　河野　雄吉
（町設）　安光　正治
中元　喜好
国村　孝佳
（自衛）　小林　義雄
砂田　善一
藤田　茂
大田　貞男
道中林太郎
藤松　芳雄
角村　義雄
竹村　信市
内田　友
松西　信行

消防協力者表彰
中田　鶴一
作間　武夫
国村　末男

人命救助表彰
八木　正喜
姉冨　忠幸
長谷　寛子

二十才になられた方は 国民年金に加入しましょう

今年も一月十五日の「成人の日」を迎え、新しく成人となられた方に心からお祝い申し上げます。

二十才になると名実ともに社会の一員となられるわけで、当然そこには社会人としての権利も義務もあるわけです。国民年金に加入することもその義務の一つです。会社工場、官公庁などに勤め、厚生年金や、共済組合に加入している人以外は、全部国民年金に加入しなければならないことになっています。

では、国民年金とはどんなものか、その概要を簡単に述べてみますと、

(1)年をとって働けなくなったとき

(2)身体障害者になったとき

(3)母子家庭になったとき

などそれぞれ年金によって生活を保障し、安定を図ることを目的としています。

国民年金はとかく遠い将来の事だと考えがちで、青年の方には、加入の意慾に乏しいのが実情です。しかし、年をとってからや、不幸になってからでは遅すぎます。不幸はいつ来るかわかりません。

二十才になられたときからすぐ加入し、準備しておかなければならない大切なことです。**加入の届出は簡単です。**

保険年金課又は、大海支所に直接本人がおいでになってもよいし、世帯主の方がおいでになってもかまいません。

備付の用紙に住所、氏名、生年月日を記入し、印を押すだけで加入の手続きはすみます。

保険料は満三十五才まで、月一〇〇円、満三十五才以上は毎月一五〇円です。

保険料は毎月婦人会の方が集金にいかれますので、その時納めることになります。

成人になられた方や二十才以上の方でまだ届出のすんでいない方は、一日も早く届出をすませ、幸せな人生の出発点とするようにいたしましょう。

尚年金について加入、その他御不明な点がありましたら保険年金課（有線四〇番）か大海支所に御遠慮なくお問合せ下さい。

老い先きに
年金ありて　梅一輪

成人式

一六八名の成人適令者の成人式が町公民館で行われました。

部落別成人適令者は次の通りです。

出生日は昭和十九年一月十六日から昭和二十年一月十五日迄です。

成人適令者数表

部落名	男	女	計
大河内北南	3	4	7
大河内南	2	1	3
天神町	4	6	10
浜中条	4	3	7
北条	2	3	5
中条	2	3	5
井南内	0	3	3
浜	3	4	7
小浜崎	0	0	0
赤日地	2	4	6
会山嶺	4	1	5
西青江	4	0	4
先青江	0	2	2
中道	1	4	5
花香南	2	2	4
花香	5	0	5
中津江	3	0	3
屋戸	3	4	7
加茂町	3	1	4
海岸通	0	1	1
東本町	2	2	4
上本町	2	4	6
本町	0	0	0
祇園町	0	2	2
下村	4	3	7
中野	5	12	17
東田	7	2	9
天天田	2	2	4
西天之且	3	1	4
宮渦北	1	3	4
黒渦	2	5	7
黒合南	8	3	11
合計	83	85	168

肢体障害者 職業訓練生募集

県肢体障害者更生指導所では、肢体の不自由な方を対象に次の要領で、訓練生を募集していますから、希望の方は、住民課へ連絡下さい。

募集期限　二月末日
入所期間　昭和四十年四月一日から昭和四十一年三月三十一日まで一ケ年

職業訓練科目（いずれか一科目選択）
①名刺印刷科
②謄写筆耕科
③印章彫刻科
④裁縫科
⑤手芸科

吉敷郡社会教育 振興大会開く

第三回吉敷郡社会教育振興大会が去る十二月二十日午前九時四十分から秋穂小学校講堂で社会教育に携わる人達で盛大に開かれました。

大会は、郡教育会長のあいさつ並び来賓の祝辞のあと各町の社会教育功労者に対して表彰状と記念品が贈られた。当町では五年前に同好者二十余名で発足して、今日まで続けて来られた文化サークル（コーラス）の貢献者である藤江幸子さんが表彰され、実践活動の実例発表では、黒潮南子供会育成会の末貞敏氏の「会の運営について」等が発表された。

講演では「社会教育の問題点」について日本P、T、A、審議会長の林覚氏のユーモアをまじえた興味深い講義があり午後からのレクリエーションの交歓会では秋穂町青年団音楽班のコーラスではじまり各町からのいろいろの演技がくりひろげられ盛大裡に終了しました。

冬の青少年を守る 運動が行なわれています

昭和三十九年十二月二十日から昭和四十年二月二十日まで県、市町村青少年問題協議会主催のもとに行なわれます。

運動の強調目標として、「酒、タバコの害から青少年を守ろう。」がとりあげられていますが秋穂警察官派出所においても、少年をグングン悪の道へ誘いとむ酒やタバコから守るために補導を強化することにいたしました。小郡警察署で、酒、タバコで補導した少年は、今年一月から十一月までに、酒、四十一名、タバコ、九十八名です。

家庭の皆さん、少年が酒、タバコを飲むことは不良化になる大きな原因の一つです。この非行を防止するために一般家庭でも次の点に注意して下さい。

一、友人関係にご注意

盛り場、映画館などに、足を向けることが多くありますこういった場所で、よくない友人と知り合ったり悪い遊びをおぼえたりしがちです。友人、遊び、持ち物、本など日常の行動に巾広い注意が大切です。

二、小遣いはほどほどに

少年の不良化には、こずかい銭に関係したものが多いのです。子供がほしがるままに与えるといった、きまりのない与え方や、子供まかせの使わせ方は、あやまちのもとです。子供の欲望は際限がないばかりか理性が乏しいからです。正しいこずかいの与え方計画的な使い方について、よく指導していただくことが大切です。

三、心配ごとは早いうちに

中、高校生は少年から成人になる人生の転換期であり、大人のまねがしたい頃です。「家の子に限って」「うちの子が」とよくく憂目にみたものです。夜間の外出、飲酒タバコなど不良化のきざしが出るのを日頃から気をつけて誘惑にまけないようにしたいと思います。もしこうした心配ごとがあったら早いうちになおすように努めましょう

思い出そう道交法六十五条 —酒気帯び運転の禁止—

運転者の皆さん年初めは、飲酒の機会が多くなります。

飲酒運転による交通事故ほど恐ろしい、悲惨な事故はありません。大トラはもちろん。小トラでも、呼気一リットルにつき〇、二五ミリグラム以上になると道交法では酒気帯びの状態になります。運転途中で、ちょっと一っぱい、は事故が待っています。これぐらいなら大丈夫がいけません。

運転途中はやめましょう

運転者の雇用者、使用者など周囲の人も運転者には酒をすすめないようにして下さい。

三学期を迎えた こどもの指導

三学期は小学校、中学校、高等学校とも各学年のしめくくりと仕上げをするたいせつな時期です。特に中学校と高等学校の最終学年の生徒は、進学や就職問題もからんで、精神的、内体的な苦痛にたえられず、不良化したり、家出、さらには自殺など思いあまった行動に出る青少年も、毎年この頃から春にかけて多くなります。

家庭の心配もひととおりではありませんが、悩み多い若人たちの立場を理解し、あたたかいいたわりの心で指導したり相談にのることがたいせつです。そして進学や就職についても、有名校や大会社などと、実力以上の無理な要求をしないことが大切です。

こどもの個人差、地域差、家庭の状況などから一概には言えませんが、一般的な注意を申しますと

①小学校—最後の学期としてまとめや整理に留意し進級、進学の心がまえを育てるようにしましょう。

②中学校—心身の発達が著しく動揺の激しい時期で、特に卒業前の三年生では進学就職の試験準備で過労にならないよう、家庭でもよく気をつけ、いらいらして叱ったり過重な期待や負担をかけないことです。

③高校—年令がすすみ、理性や自制がかなりついてきているので、家庭でもこの点を助長して自律性を高めていくよう気を配りましょう。高校生ともなれば体はおとなみですが、しかし経験や判断にはどうしても狭さや片寄りがあるので、いつも動静を見守り話し合いつつ、助言することを忘れてはなりません。

農作業を手順よく

農家の皆さんもお正月の諸行事がおわったら、一年間の栽培方針や経営計画をたてておきましょう。さてこの月の農作業は、まず畜舎の防寒設備が十分でないところは早くしてやりましょう。床土準備や麦の中耕追肥、麦ふみといろいろ忙しいことでしょう。

草木灰を作るのもこのころです。水田苗代、温床の踏込みと、農家はあいかわらずのんびりしているわけにもいきません。寒い時ですから、体に気をつけて、手順よく仕事をすすめていきましょう。

晴着のしみぬき

酒、ぶどう酒、ビール、茶コーヒー、果汁、梅酢等の酸類のしみぬきは、湯洗剤液や薄いアンモニア水又は硼砂水で拭きとり、後は水又は微温湯で拭きます。泥土のしみはよく乾かしブラシをかけて落します。泥はねの跡の残ったものは、水をつけたブラシで軽くたたいてとります。

ウールの洋服類は処理が比較的容易ですが、白地の訪問着などは専門家に任せた方がよいでしょう。えりあかのしみは、えりと掛えりの間に木綿布をはさみ、質のよいベンジンでたたくようにして拭くと、しみが広がらずえりを汚すことも少ないでしょう。